

ほそや美恵子のニュースレター

議員の役割

議員の役割、皆さんはどのようにお考えですか？

議会制民主主義を掲げる日本において、国から小さな地方自治体に至るまで、議会や議員をなくすことはできません。なぜなら議会などない「かの国」を見てもわかるように民主主義が崩壊してしまうからです。皆さんにとって議員の評価は様々あると思いますが、国会議員から市町村議会議員まで議員の存在は必要不可欠です。ただし、各議員が議員にふさわしい人物かどうかは皆さんの評価に待つところでもあります。

日本において地方自治制度は、70年が経過するところですが、まだまだ260年も続いた江戸時代、徳川幕府の「お上」意識が根強く残っているような気がします。そこから市長率いる執行部の「いう通り」にしていれば間違いない、いやあれこれ批判するなんてもってのほかだという意識。議員の中にもそのような考えの人が散見されるかと思えます。鵜呑み、丸呑み・・・故に議員がいてもいなくても大勢に影響などなく行政が回っていくから要らない、と議員不要論になるということでしょうか。

そこで、議員の本来の役割をもう一度考えたいと思います。議員の役割・仕事は何か？自治会活動やPTA活動？ ボランティア活動？ のようなもの・・・もちろんこれらの活動も大切な活動ですが、「議員とは」、その「役割とは」、まず公人であり、匿名での発言行動は許されません。そこにはある意味プライバシーもないといってもよいでしょう。議員は、選挙において皆さんの清き一票をいただき、皆さんの代表としてもものをいう権利をいただいております。選挙の洗礼を受けて、皆さんから「自分たちの声を代弁しなさい」、「声を届けなさいよ」と重い付託を受けております。これは議員と首長にだけ与えられた権利であり、使命であります。

ですから議員の役割・仕事は、大変重いものと考えます。皆さんが何を望んでいるのか常に考え、執行部を厳しくチェックし、皆さんの幸福を願い発言し行動していくことこそが「議員の役割」だと考えます。

元三重県知事の北川正恭氏は1月の行田市商工会議所主催の新春講演でいみじくもこう言っています。「今、地方を変えていくために重要なのは地方議会、市議会だ。大変重要だ。今、市議会不要論が喧しいが、中央集権の時代ならそうかもしれないが、今は二元代表制である。市長をチェックし、部長をチェックし、働かせていく力が、市議会に備わらなければならない。市議会議員にその力がないならば、その自治体は消滅危機を迎えるだろう」と。



ほそや美恵子 プロフィール

ほそや美恵子事務所

ブログ ameblo.jp/mimi68/
 ☎ 048-598-8232
 FAX 048-598-8234
 HP miekohosoya.com
 Eメール miekohosoya@yahoo.co.jp



議会運営委員会委員
 健康福祉常任委員会委員
 鴻巣行田北本環境資源組合議会議員
 社会福祉協議会理事
 決算委員会委員
 議員定数検討委員会委員
 県立熊谷女子高等学校卒業
 中央大学文学部・法学部卒業

私の質問 12月議会

私の視点

人口減少が止まらない行田市。本当の賑わいとは、一過性のお祭りなどではなく、行田市に定住する人口が増えることにあります。そのための施策は十分行われているでしょうか。

私は市長提出議案15のうち1議案に反対しました。この議案は、

「要介護4・5以上と認知症の高齢者を在宅で介護する介護者に月5000円の慰労手当が交付されていました。それが認知症で要介護3の方の介護者については支給しないことにするというものです。認知症の介護をするのはとても大変です。なぜ対象者30名ほどのところにこのようなことをするのか」と私は反対しました。僅少な額の慰労手当さえもカットしてしまっているのか。しかし他の議員の賛成多数で可決されました。

また、私の方から「本市の活性化について、企業誘致には2億円近くかけているが新規雇用など成果は出ているか。」に対し「本年は1社で市民雇用はゼロと、期待を下回った」との答弁。また、「農業は行田市において括目すべき産業である。新規就労や中間管理機構を助成促進するために、もっと行政のバックアップが必要だ。」としたが、即効性は望みにくいと消極的であった。「人口減少と若者の流出に本市の対応が遅れている」と指摘したのに対しては「勧誘方法など再検討しなければならない」と約した。このままでは自治体間の競争には勝てない。消滅可能性大だ。

私の質問 3月議会

私の視点

本会議における議論がなおざりにされていないか。

実行すると決定したことは実行し、すみやかな実現が求められているのだが。

「毎年行われている全国学力学習調査の結果から本市の児童生徒の学力の結果は憂慮すべきものだ。教育委員会の議題にすら上らないのは何故か。2年前の6月議会で教育委員会は『喫緊で重大な問題と認識している』と答弁していたが実行が伴っていない。分析や改善はしているのか。1億3千万円をかけて浮き城先生を雇い少人数学級を行っているがその成果は何か。」と私が質したのに対し「生徒への目が行き届くことや、授業への参加しやすさが増した。しかし、学力の向上については寄与していないといわざるをえない。」との答弁があった。また、私が昨年の6月議会で指摘し、執行部から実行すると答弁を引き出した「学童に体育館を使わせても良い」という結論が未だ実行されていない。なぜか、との問いに対し、「動き出したところだ」との答弁。今までも私の提案について有用なものとして即実行してくれたものもある。本会議の私の指摘から早速反映された事例も多い。しかしまだまだだ。良いことはスピード感を持ってやって欲しいと指摘した。

本会議にて質問中



決算委員会

平成27年度の決算審査 特別委員会 私を含め7人の委員で審査します。

審査項目は多岐にわたり、毎日かなりの時間を費やし資料に目を通し臨みます。一例として環境経済部の「道の駅構想」について、「本当にやれるのか?」、「調査研究、基本構想作成依頼費で、はや8百万ほど支出。今後着地点はあるのか?」など審議。またバスターミナルの観光案内所の建設 53 百万円以内の資料提出を求めるが、縦割り行政にて、「分からない」とのこと。どうして分からないのか。この決算委員会も含め、委員会審議の様子も市民の皆さんへ中継されるべきです。どこまでも質疑することができる委員会は、最も深い所まで聴けるので、私にとってもやりがいのあるものです。しかし、あまりに長時間座ったままが続き、エコノミー症候群になりそう。トイレ休憩時はストレッチなどして予防に努めます。熱気といきりれで空気もよどむ。1日10時間、この10時間、そして5日間合計で50時間近くの決算審査が今後に実りあるものとならなければならない。

みえちゃんの活動日誌

議会報告会 2016年10月15日

大勢の方々が集まって下さいました。50人を超え、机や椅子が足りなくなりました。今日は久々の快晴で、農家でそのために来れないという方も少なからずおられたようでした。また、駐車場が満杯になってしまっていたので帰られた方もいたということでした。申し訳ない気持ちと、また、関心の高さにうれしい気持ちにもなります。市議会議員の仕事、議会の内容などを議会中継を交えながら、丁寧にお話ししました。これは議員の大切な仕事と考えます。議員が市民の皆さんに活動を報告することは「しなければならない仕事」と考えます。9月議会で『本市の超高齢化への施策について①認知症対策②成年後見制度の周知③シルバー人材センターの活用④空き家バンクの創設について』質しました。また『デマンド交通の実施は具体的になったか』、『危険運転にならないよう免許証の自主返納者に特典を考えるべきだ』など質したことについて報告しました。

皆さんからは、「面白かったよ」などありがたい感想をいただきました。ありがとうございました。



報告会

「陸王」 2017年1月15日

この冬1番の寒さの夜、体協新年会、来賓の副市長が陸王の話をする。また市長も公民館の新年会で陸王の話を嬉しそうにしていた。「TBSでドラマ化される」、とか、「役所広司が来るかも…あなたもエキストラになれるかも」、などとおっしゃる。このドラマによって観光客が増え行田市に賑わいが起こると期待しているご様子。私は考えます。どうでしょうか?? どのくらい観光客が増えるのでしょうか? それにその観光客は本市でお買い物やお食事をどのくらいしてくれるのでしょうか? どこかに泊まってくれるのでしょうか? 宿泊施設も少ないですが…。ましてこのドラマがきっかけで、本市を気に入って引っ越してきてくれる人が、どれほど増えるのでしょうか? そのための態勢(定住促進)が準備できているのでしょうか? これから作るのでしょうか? 他力本願で、期待だけしていたのでは何も起こりません。もしこのドラマ効果にそれほど期待するのであれば本市側もそれ相応に準備しなければならないでしょう。

「行田・鴻巣・北本 3市合同ごみ処理施設建設」計画 2017年1月20日

新施設検討委員会が開かれるので傍聴に来ました。鴻巣市関新田鴻巣市教育支援センター 今にも雪が降ってきそうです。寒いです。流れる水のディスプレイが寒々します。2時から始まりました。が…傍聴人は外で待ちです。まだ中に入れてもらえません。寒● 鴻巣の市議4名、北本の市議1名、行田の市議は私のみ、それと市民の方々とで10人ほどです。たくさんの資料を用いて、専門部会からの報告は ①ごみ処理方式の評価選定について ②事業方式の評価選定について



外で待つ

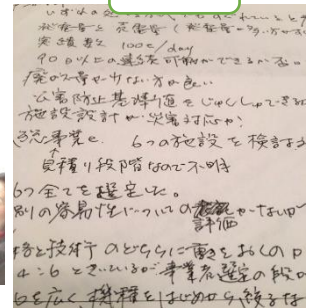
しかし、渡された資料は、傍聴人のものは退室時に取り上げられてしまう。何故?と問うても、「?」と、答えはかえらない。それなので自分でなぐり書きしたメモを頼りに。行田市民にとっては、いつのまにか動いている感のあるごみ処理施設の新設計画。迷惑施設と考えるか、資源施設と考えるか…それによりこの計画への向き合い方が違う。行田市民にもっとこの計画を知ってもらって、合意形式を図っていくことが、必要な段階に来ているのではないだろうか。

自動車運転免許の自主返納者に特典

良かった! 2月17日の埼玉新聞 第一面「行田市の免許自主返納者にタクシー券交付」「若年層で返納した人も対象。」実現!

昨年の9月の議会で、私は自動車の危険運転事故が増えていることから質問に立ち、これを指摘し、運転に自信が無くなった人が、免許証を自主返納する時、年齢に関係なくインセンティブ(特典)を与えて欲しい、と要望した。危険運転と自分で分かっている、他の移動手段がなければ、免許を手放せず、危ない運転をしてしまう。「代替になるものを出すべきだ」と。この時の執行部答弁は、「今のところは考えていない」、というものでした、が…、実現した。

メモ



勉強会 春爛漫



女性の勉強会を催しました。高齢者の方々を取り巻く政策は日々刻々と変わっていると、いっても過言ではありません。しかも、わかりにくいものもあり、利用するのも躊躇してしまいそうなものも。質問も次々出て…メモをとる人、うなずく人…女性の元気は明るい社会の源(みなもと)です。皆

さん意欲満々、意気軒昂、元気はつらつ…

日本の未来は明るい♡

便利になります。 やっとやっとな… 実現しました。デマンドタクシー。「すでに始まっている東松山市を研究して、行田市でもやれないものか」と担当課を訪ねた時から…やっとな…実現！ 4月からスタートします。75歳以上の高齢者、障がい者の皆さんにどんどん利用していただきたい。集まりにお邪魔して…ちょっとご説明。



バス停出来て、便利に

武州荒木駅にバス停が出来ました。市内循環バスが、秩父鉄道につながりました。少しでも、便利になって…高齢者の方々の自立生活の、自由な活動の、助けになって欲しい。『きょうようときょういく。(今日用がある、今日行くところがある)』で毎日忙しく張りのある生活の一助であって欲しい。



社会福祉協議会 理事会

行田市総合福祉会館 やすらぎの郷 平成29年度予算を含め6議案の審議。今回の審議はガバナンスの強化にあると考えます。市が多くの事業費を負担しています。市が委託している事業も多い社会福祉協議会。市民への認知度は今ひとつの感有りですが…自主事業 21、市からの受託事業 17と、その役割は大きいものです。私は、理事会で議案についてしっかりと審議させていただきました。



常任委員会審議 2016年12月7日 健康福祉常任委員会始まりました。市長から提出された議案の中から健康福祉に関するものの慎重審議が始まります。「介護慰労手当支給条例の一部を改正する条例」介護が困難な方を在宅

で介護する行田市民の方々へ慰労金として、一律月額5000円が支給されている。この度の条例改正で、今迄支給されていた介護者の方々から30名の方々が支給対象から外れる。要介護2、3の認知症の方を介護する方々だ。「こういった介護は大変なご苦労だと思うのだが、なぜ今回慰労対象から外されたのか…。では、代替として、介護者の労苦に対する何か受け皿はあるのか？」と問うと、ほとんど…ない。「オレンジカフェ、とか、…」との答弁。私はこの条例に反対しました。介護者の労苦を考えたとき、その慰労の気持ちを表したい。

私は色々たくさん執行部に対し質疑します。委員会では、部長以下課長や担当官がずらりと出席するため、より詳しく議案に対しての質疑ができるからです。マイクがあってすべて録音されています。しかし、ホームページ上では公開されていません。こういうところが行田市の議会は遅れています。私はかなり突っ込んで質疑しているのですが、委員長報告という形になると簡単にまとめられてしまいます。国民健康保険や、介護保険など重要な大きいものが続きます。昨年度同様行われる各事業は検証も必要です。前年と同じ、前年と同じ…前例踏襲ただそれだけではだめです。

時間を見つけては… 2017年3月31日 作り置きをしています。今週末は時間なさそう…なので、春菊、かき揚げの天ぷら、にんじんのサラダ(これは好評だったのでまたたくさん作りました)。かつ丼の具、サバの味噌煮、ハンバーグ、麻婆豆腐(激辛になりました)。ナスとセロリのかき油炒め、中華丼の具、水菜と新玉ねぎのサラダなど、小分けにして、父母にも配達。ところで、女性が仕事をするならば、家庭のことを、より完璧にやらなければならないというご意見があります。しかし、どうでしょう？それでは、働く女性の負担が重過ぎるのでは。どこかしら手抜きをしなければなりません。私はアメリカ、サンフランシスコに住んでいた時、2人の子供の子育てと学校のボランティア(これがなかなか仕事量も多く)夫の仕事の手伝い(パーティーや接待も多く)、それに加え生徒数1600人超のマンモス日本語補習校の理事(大きな改革もやり大分精魂尽き果てました)もやっていました。本当に体がもう1つ、いや2つあったらなあ弱音を吐くくらい忙しかった。しかし当時の私は、何事も手抜きしてはいけぬ、と思い込み、結局、睡眠時間を削ってまでも、やり通し、げっそりやせてしまいました。今は、うまく折り合いをつけて、家事は上手に手抜きしようと思います。今回の料理は全部で2時間半で出来上がりました。

